

平成 18 年度 水道についての市民意識調査
および事業所アンケート調査結果速報

平成 18 年 8 月
北九州市水道局

水道についての市民意識調査結果速報

1 調査概要

調査数	3,000
回答数	1,533
回答率	51.1%

2 回答者属性

(居住区および性別)

行政区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	不明	市全体
男 女	73 91	83 168	116 218	52 94	41 78	141 260	40 60	1 17	547 986
計	164	251	334	146	119	401	100	18	1,533

(年齢層別)

年齢層	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明	計
回答数	149	228	223	345	296	274	18	1,533
比率	9.7%	14.9%	14.5%	22.5%	19.3%	17.9%	1.2%	100.0%

(家族構成別)

家族構成	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明	計
回答数	143	519	383	283	126	61	18	1,533
比率	9.3%	33.9%	25.0%	18.5%	8.2%	4.0%	1.2%	100.0%

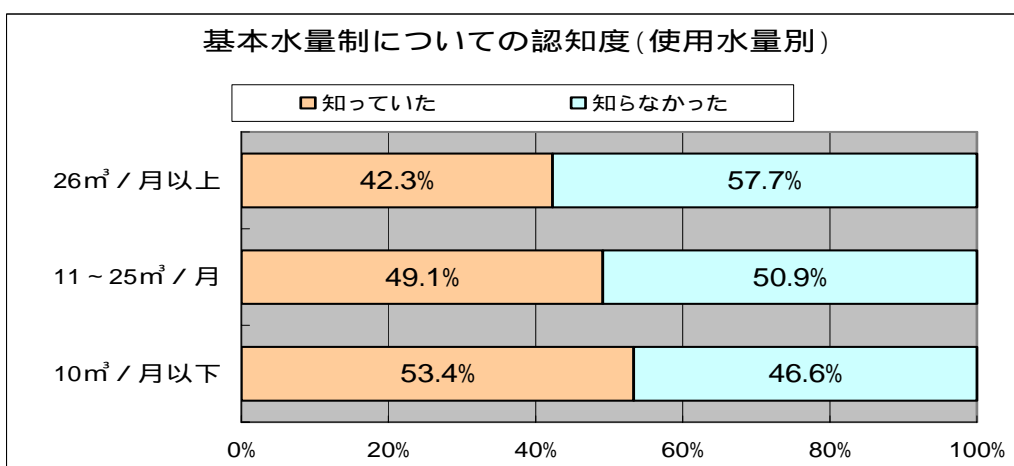
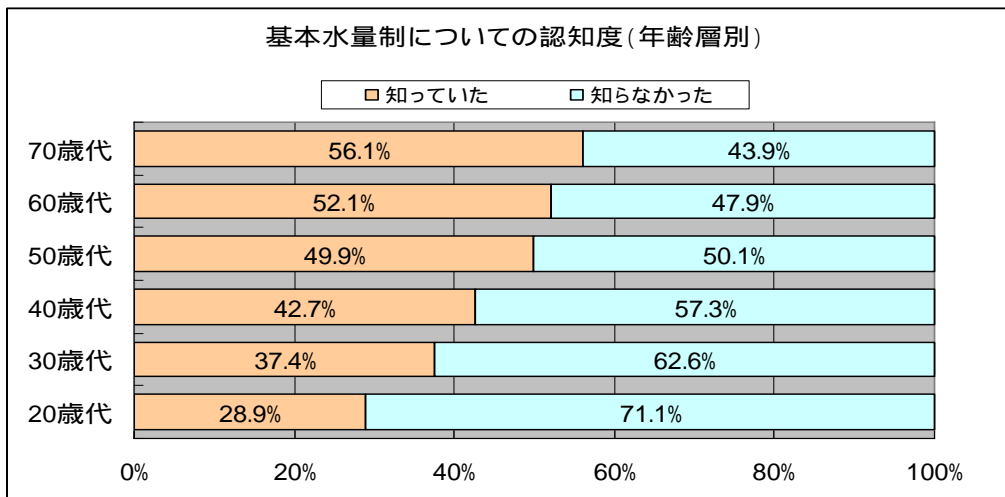
(一月あたりの使用水量)

使用水量	10m ³ 以下	10m ³ 超 25m ³ まで	25m ³ 超 50m ³ まで	50m ³ 以上	不明	計
回答数	216	763	378	25	151	1,533
比率	14.1%	49.8%	24.7%	1.6%	9.8%	100.0%

【水道料金に関するアンケート回答結果】(補足：本市水道料金の仕組みの説明文の後に質問)
 (質問) あなたは水道料金について、一月あたり 10 m³までは、使用量に関わらず同一料金(基本料金のみ)となることを知っていましたか。

選択肢	回 答	
知っていた	693	45.2%
知らなかった	808	52.7%
(不 明)	32	2.1%
計	1,533	100.0%

〔回答結果詳細〕

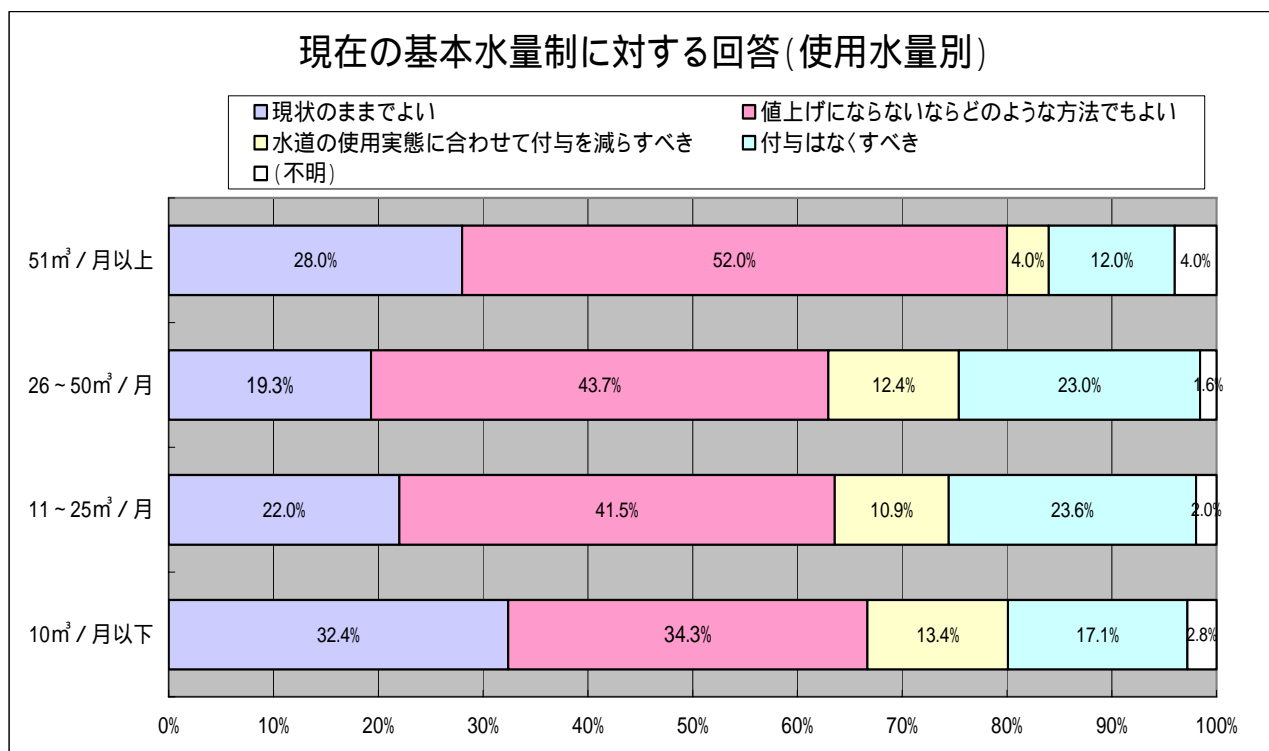


- 本質問については、年齢層が高いほど認知度が高い傾向にあった。また使用水量別では、10 m³/月以下の家庭の回答者の認知度が半数以上であるのに対し、一月あたりの使用水量が多くなるほど、認知度が低くなっている。

(質問) あなたは料金値上げにつながらないような方法で、一月あたり 10 m³の付与を見直すとした場合、どのようにお考えですか。

選 択 肢	回 答	
現状のままでよい (10 m ³ / 月の水量を付与)	345	22.5%
水道の使用実態に合わせ、付与する量を減らすべき(一月あたり5 m ³ など)	174	11.4%
使用した量に応じて料金を支払う方がよいので付与は無くすべき	328	21.4%
料金の値上げにつながらないなら、どのような方法でもよい	648	42.3%
(不 明)	38	2.4%
計	1,533	100.0%

〔回答結果詳細〕

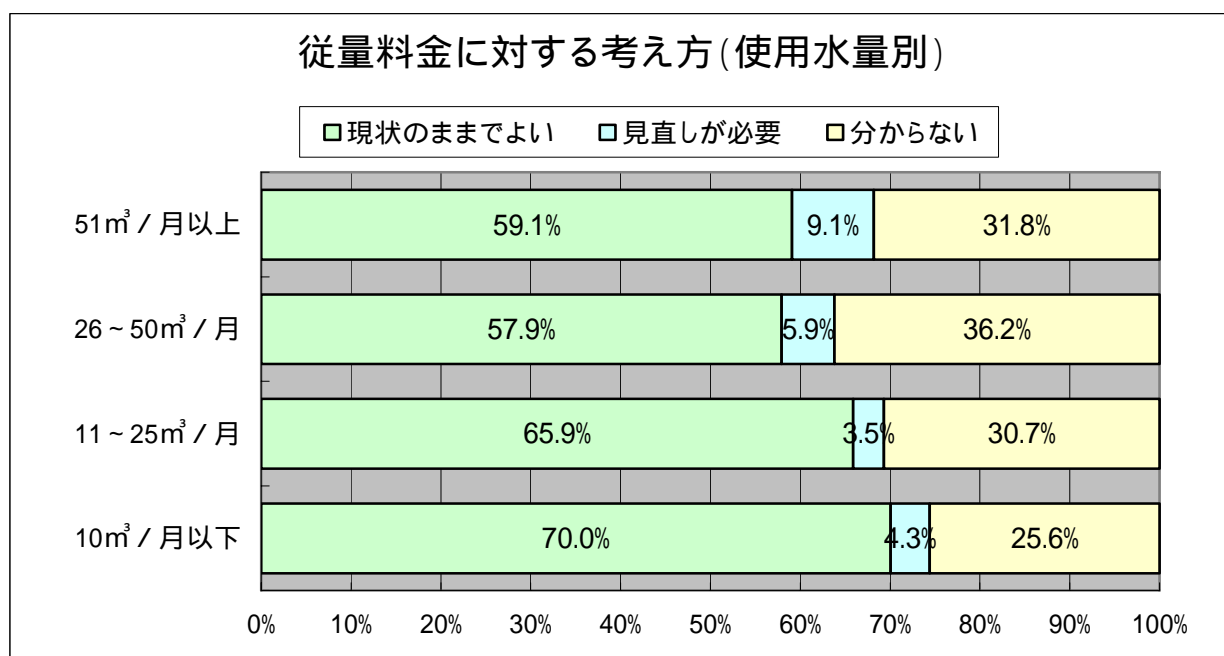


- ・ 各使用水量別に集計した場合も、「値上げにならないならどのような方法でもよい」との回答が、それぞれ約 35 ~ 50%を占めている。
- ・ 水道使用量が 10 m³ / 月以下の回答者においても、基本水量制については「現状のままでよい」が約 3 割を占めている。
- ・ また「付与は無くすべき」との回答も、各使用水量とも約 20%前後を占めている。

(質問)あなたは一般家庭での料金を軽減し、その分の負担を企業等の多量使用者に求める現在の従量料金について、どのようにお考えですか。

選 択 肢	回 答	
一般家庭での水道の使用が安価に設定されているので現状のままがよい	952	62.1%
企業等の多量使用者の負担が大きいので見直しが必要	67	4.4%
わからない	478	31.2%
(不 明)	36	2.3%
計	1,533	100.0%

〔回答結果詳細〕



- 現在の従量料金については、一月あたりの使用水量に関わらず、「一般家庭での水道の使用が安価に設定されているので現状のままがよい」との回答が半数以上を占めている。
ただし、いずれの使用水量においても、「わからない」が約 30%前後を占めている。

水道についての事業所アンケート調査回答結果速報

1 調査概要

調査数	H17 使用水量上位 300 事業所
回答数	194
回答率	64.7%

2 回答者属性

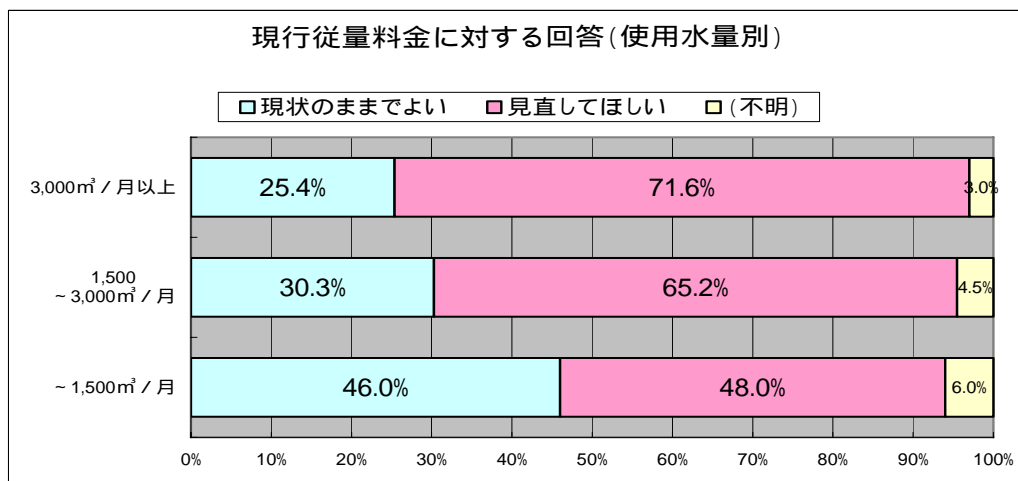
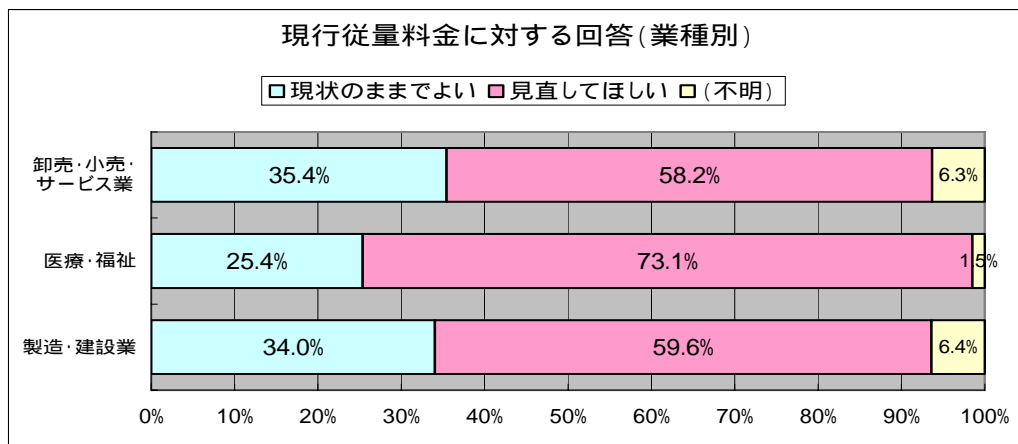
業種	月平均使用水量								計
	~500 m ³	~1,000 m ³	~1,500 m ³	~2,000 m ³	~3,000 m ³	~5,000 m ³	5,000 m ³ ~	(不明)	
製造業 建設業	-	3	9	7	9	9	9	1	47
医療 福祉	-	4	17	8	12	11	7	8	67
卸・小売、 サービス業	1	4	12	12	17	12	19	2	79
(不明)	-	-	-	-	1	-	-	-	1
計	1	11	38	27	39	32	35	11	194

【水道料金に関するアンケート回答結果】(補足：本市水道料金の仕組みの説明文の後に質問)

(質問)本市の現行水道料金のうち従量料金について、貴事業所では、どのようにお考えですか。

選 択 肢	回 答	
現状のままでよい	61	31.4%
多量使用者の負担が大きいため見直してほしい	124	63.9%
(不 明)	9	4.6%
計	194	100.0%

〔回答結果詳細〕

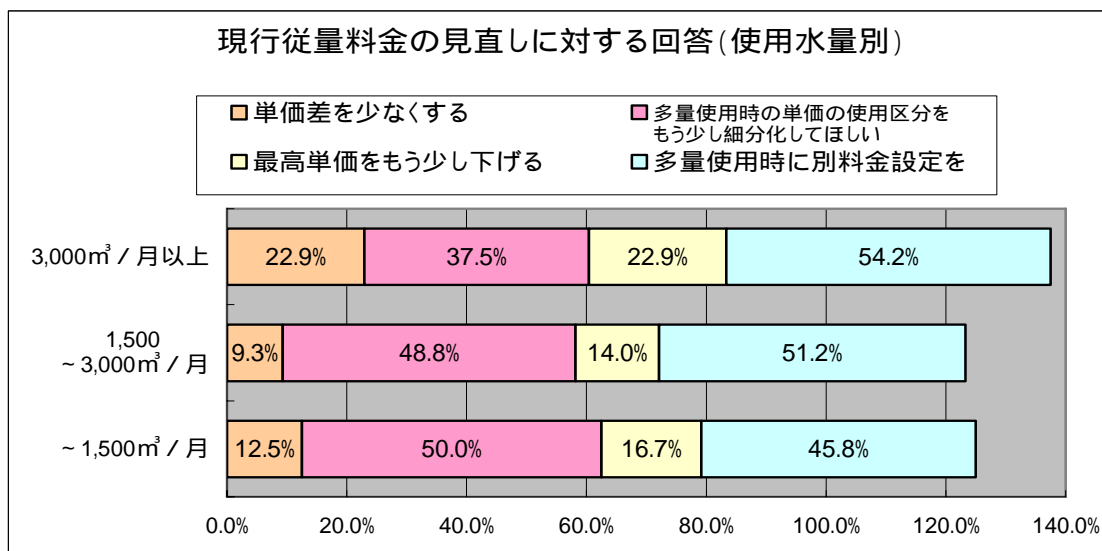
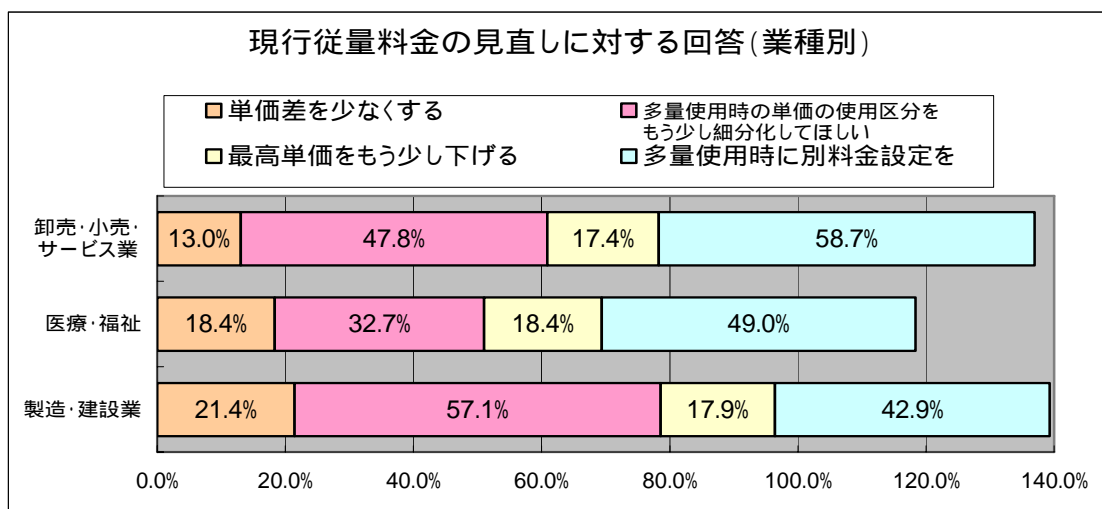


- ・ 現在の従量料金設定に対しては、業種別に見ると、卸・小売・サービス業、製造・建設業では約60%が、医療・福祉では約70%の事業所が、「負担が大きいため見直してほしい」との意向を持っている。
- ・ 使用水量別では、使用水量が大きくなるほど従量料金見直しに対する意向が強いことが分かり、3,000 m³/月以上では70%以上の事業所が「見直してほしい」との意向を持っている。

(質問)(前問で「多量使用者の負担が大きいため見直してほしい」と回答した事業所に対する付問)
 現在の従量料金を見直すとした場合、どのような従量料金設定を希望されますか。(複数回答可)

選 択 肢	回 答	
多量使用と少量使用の使用区分との単価差をできるだけ少なくしてほしい	21	16.9%
多量使用時の単価の使用区分をもう少し細分化してほしい	54	43.5%
最高単価をもう少し下げてほしい	22	17.7%
一定以上、多量使用する場合は、別に安い料金を設定してほしい	64	51.6%

[回答結果詳細]



- 現在の従量料金設定を見直すとした場合の方法は、業種・使用水量区分別で若干比率の差はあるものの、「多量使用時の単価をもう少し細分化してほしい」、「一定以上、多量使用する場合は、別に安い料金を設定してほしい」との意向が強い。